

一人ひとりが輝く、田原本の教育

「This is Me! これが自分だ」子どもたちの可能性を広げる取り組み

昨年8月に改定した教育大綱の基本理念「This is Me! これが自分だ」に基づき、町では子どもたち一人ひとりが自己効力感を高め、多様性を尊重することを目標に、教育委員会と各学校が連携し、特色ある学校教育と未来の学びに取り組んでいます。子どもたちが自分らしく輝き、主体的に学ぶ力を育むための取り組みの一部を紹介します。

☎ 教育総務課 ☎ 34-2074



01 教育委員会の取り組み

つなぐグローバル教育事業

幼稚園から中学校まで一貫した英語教育

当町では、ALT（外国語指導助手）との交流を通じ、生きた英語に触れる環境を大切にしてきました。令和8年度からは「地域活性化起業人制度」を活用し、外部の専門人材を新たに配置。幼・小・中の連携をさらに強化します。

幼稚園での遊びを通じた英語との出会い、小学校でのネイティブとの英語体験や基礎的な学習、中学校での学んだ英語を自分なりに使いこなし、自信を深める学びまで、12年間の切れ目ない学びを提供します。さらに国際交流イベントも開催し、世界を身近に感じる機会を創出します。

言葉の壁を越えて異文化を尊重し、未来の国際社会で自分らしく活躍できる人材を育てます。

つなぐグローバル教育事業（幼稚園から中学校まで）



- 英語へのふれあい
▶遊びの中で自然に英語と出会う環境づくり
- ネイティブとの英語体験
▶ALTとの交流で英語への親しみを育む
- 外国語学習の充実
▶基礎を固め、伝え合う楽しさを知る授業
- 英語で思いを伝える体験
▶自分の気持ちを英語で届け、自信を育む
- 世界とつながる体験
▶広い世界を肌で感じる

読解力向上事業

学校司書と電子図書で、読書の楽しさと学びを広げます

全国的に児童生徒の読書量減少が課題となる中、当町では「人」と「デジタル」の両面から読書環境を支えています。

各校を巡回する学校司書は、本の整備や読み聞かせ、季節の展示を通して「本との出会い」を創出。さらに小学校4～6年生に導入した電子図書は、一人1台のタブレットで「いつでもどこでも」読める環境を実現しました。その結果、一人平均で月10冊以上の読書量を記録し、感想の共有や授業での調べ学習など、主体的な学びが広がっています。この成果をふまえ、令和8年度からは対象を「小1から中3まで」全小中学校へ拡充する予定です。成長段階に合わせた最適な読書環境を整え、子どもたちの知的好奇心と豊かな心を育てていきます。



読み聞かせ（東小学校）



図書の貸出（田原本中学校）



企画展示（北小学校）



企画展示（平野小学校）

02 学校の取り組み

特色を生かした教育活動を展開

各学校では、「自ら考え、力を合わせる」「誰もが学びやすい環境をつくる」「未来を創る力を育む」という3つの方向性に基づき、それぞれの特色を生かした教育活動を展開しています。

仲間と学び合う授業づくり、一人ひとりの個性を活かす特別支援教育やインクルーシブな学び、読書活動、地域と協働した体験活動の充実、世界とつながる国際交流など、多様な教育内容の充実を図っています。

子どもたちが「自分にもできる」という自己効力感を高めながら、自分らしく輝き、主体的に学び、未来を切り拓く力を身につける環境づくりに取り組んでいます。

「社長になろう」ワークショップ



たわらもと ReBORN プロジェクトと連携し、町での起業を想定した事業計画を発表。10社の地域課題を解決する「素敵な会社」が誕生し、創造力と実行力を育みました。(北中学校2年生/1月14日)

「バケツ稲」活動の発表とわら細工販売



「バケツ稲」活動をスライド発表(1月30日)し、わら細工を販売(2月)。ポスター作成から接客まで分担し、自分の役割を果たす喜びと「できた!」という自信を育みました。(田原本小学校なかよし学級)

タンザニアとオンライン交流



タンザニアで活動する JICA 隊員とオンライン交流。アフリカの生活や支援活動を直接聞き、世界の課題に目を向け、国際協力の大切さを実感しました。(1月23日/南小学校4年生)

ナウル共和国とオンライン交流



大阪・関西万博を機に広報連携協定を締結したナウル共和国の大臣らとオンライン交流。会話のなかで文化の違いや共通点を発見、世界の多様性を実感する貴重な体験となりました。(2月3日/田原本小学校6年生)

誰もが学びやすい環境をつくる — 町の教育支援施策 —

一人ひとりの子どもが安心して学べる環境づくりのため、さまざまな施策を実施しています。特別支援などに対応する「こども支援員」の配置、サポートソフトの導入、不登校対策としての「やすらぎ教室」の設置、GIGAスクール維持のためのタブレット端末の更新。さらに、教科担当教諭の配置、小学校1年生の30人学級実施、カウンセリングを行う人員の配置など、きめ細かな支援体制を整えています。次年度からは、部活動の地域連携のさらなる推進、校内サポートルームの支援員増員などを予定。今後も、子どもたちの教育環境充実のための施策を推進していきます。